

授業科目	治療論Ⅱ	開講年次	単位	時間	必修	講師	実務経験
		1年次	1	30		田村 広志 津田 雅大	有
授業概要	疾病の回復促進のために行われる薬物療法の生体への影響を学び、治療に伴う変化の観察と生活を調整する看護の役割を理解するための基礎知識を学ぶ。						
回数	授業計画・授業内容						授業方法
1	医薬品の基礎知識、体内動態、相互作用、薬物治療の基礎						講義
2	対症療法薬（解熱鎮痛薬、制吐薬、便秘治療薬、下痢治療薬）						
3	対症療法薬（鎮咳・去痰薬、鎮静薬、睡眠薬、高血圧症、急性冠症候群）						
4	主要疾患の薬理学（心不全・不整脈・抗血小板・抗凝固療法）						
5	主要疾患の薬理学（気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患）						
6	主要疾患の薬理学（胃・十二指腸潰瘍、胃食道逆流症、慢性肝炎）						
7	主要疾患の薬理学（慢性腎臓病、透析患者における薬剤管理、糖尿病）						
8	主要疾患の薬理学（脂質異常症、骨粗鬆症、関節リウマチ）						
9	主要疾患の薬理学（パーキンソン病、認知症、うつ病、てんかん）						
10	循環動態にかかわる持続点滴中の薬剤投与と調整						
11	栄養および水分管理にかかわる薬剤の投与と調整 インスリンの投与量の調整						
12	精神および神経症状にかかわる薬剤の投与と調整 感染徴候がある者に対する薬物の臨時投与						
13	副腎皮質ステロイド薬による治療						
14	術後ならびに呼吸管理にかかわる薬物の投与と調整						
15	試験						
テキスト	別巻臨床薬理学／医学書院						
評価方法	筆記試験						
先修条件	なし						